

獨協医科大学病院だより

— Dokkyo Medical University Hospital News —



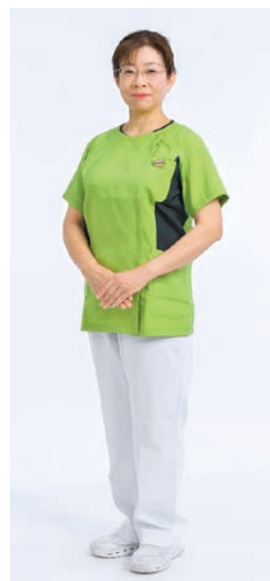
看護師日勤着用



看護師夜勤着用



看護補助者



特定看護師

看護衣のデザインが変わりました

このたび看護部では日勤と夜勤のユニフォームの色を変え、勤務シフトの区別が明確になるようにしました。

看護師は上衣を日勤は紺、夜勤は白、看護補助者は上衣を水色とし、パンツは白・紺自由に選択できることとなっております。これにより、患者さんはもちろん他の職員も勤務シフトが一目でわかり、勤務時間管理が促進され、より働きやすい職場になることが期待できます。

なお、緑色の上衣を着用しているのは、令和2年から導入している看護師特定行為にかかわる（※）特定看護師です。

※特定看護師とは…

21区分38行為の医行為（診療の補助行為）を手順書に基づいて実施できる看護師です。特定看護師が、専門性を発揮することで医療現場の期待に応える役割を果たすと同時に、医療のタスク・シフティングの推進が図られます。

令和4年（2022年）

夏号



第50号

アトピー性皮膚炎の治療の進歩

皮膚科 診療部長 井川 健

アトピー性皮膚炎は皮膚科の病気の中でも比較的名の知られた病気なのではないでしょうか？多くの患者さんは、幼小児期に発症して、長年にわたり皮膚症状が良くなったり悪くなったりを繰り返します。小児期から青年期にはすっかり良くなってしまいう方も多いのですが、成人期まで症状の出没を繰り返す患者さんも少なからずいらっしゃいます。

塗り薬を中心とした薬物治療、環境中の悪化因子対策などを含めた生活指導等を組み合わせて治療が行われておりますが、全ての患者さんの皮膚症状が問題なくコントロールできるわけではありませんでした。

最近の医学は様々な分野で進歩しておりまして、我々皮膚科学の分野でも同様です。アトピー性皮膚炎は、特に世界的にも患者さんが多いこともあって、その研究には特に力が入った分野の一つです。その成果が最近臨床に還元されつつあるところです。具体的には、ここ10年くらいで、病気を形作る機序がだんだんと判明してきております（もちろん、まだまだわからないことが多いのですが…）。その機序を標的にして新しい治療薬がぞくぞくと開発されつつあります。そのうちのいくつかは、数年前からすでに実際の治療に使われるようになってきました。塗り薬はもちろんのこと、抗体製剤といわれる注射薬、小分子化合物という種類に分類される内服薬など、全身投与のお薬の選択肢が増えたことが一つの特徴です。

新しく使われるようになってきているこれらのお薬は、病気が形作られる機序を標的にしているため、これまで使われていた、幅広くいろいろな標的を相手にするお薬に比べると、よりアトピー性皮膚炎に特化したお薬になっているといえます。したがって、良好な治療効果だけではなく、安全性の面でも配慮されていると考えてよいと思います。ただし、いずれのお薬も、使われるようになってまだまだ日が浅いものですから、効果の面でも安全性の面でもこれからの注意深い観察が必要と考えております。

このように新しい治療の手段が増えてきていることに加えて、これまでに行われていた従来の塗り薬を中心とした治療法についてもその運用のされ方や治療方法の組み合わせなどが、新しくいろいろと提案されるようになっております。アトピー性皮膚炎の治療そのものが活性化しており、治療の考え方がよりよい方向へ進化してきているように感じております。当科では、ここで紹介したような新規治療薬と、これまでに行われてきた治療方法とを統合し、よりよいアトピー性皮膚炎の治療のあり方を患者さんと一緒になって考え、実践していこうと考えております。

今回はアトピー性皮膚炎の治療を中心にお話しをさせていただきましたが、皮膚疾患に対する治療法全体が、ここ数年で劇的に進化してきております。当科ではアレルギー、感染症、皮膚がん、さらには遺伝性疾患など、皮膚科のあらゆる分野の最新治療、検査に対応可能な体制を整えております。皮膚表面になにか問題があって困った、ということがありましたら、どうぞ当科にご相談ください。



認定看護師紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師

褥瘡対策室 久保のり子



1. 皮膚・排泄ケア認定看護師とは

褥瘡などの創傷（Wound）・ストーマ（Ostomy）・失禁（Continenence）に伴って生じる問題に対して、専門的な技術を用いて患者、家族に質の高い看護を提供する看護師を言います。創傷・オストミー・コンチネンスの頭文字からWOC(ウォック)ナースと呼ばれます。皮膚・排泄ケア認定看護師は、ケアの実践だけでなく、医師や看護師、患者、家族等から相談を受け、ケア方法について指導する役割を担います。

2021年12月現在、皮膚・排泄ケア認定看護師は全国に約2600名、栃木県には27名が各施設で活躍しています。

2. 皮膚・排泄ケア認定看護師の役割

1) 創傷について

- 皮膚のトラブルや褥瘡（床ずれ）を予防できるよう、皮膚を健全に保つことができるスキンケアを実施します。また生活環境や局所（創傷）環境、寝床（ベッドや布団など）環境などを整えるケアを行います。

2) ストーマ（人工肛門、人工膀胱）について

- ストーマを造る手術を控えている方にストーマケアについて情報提供します。
- ストーマを保有されている方のストーマケア上のトラブル予防の実施や個々に合わせたストーマ装具の選択、患者、家族に日常生活のアドバイスなどを行います。

3) 失禁について

- 尿や便失禁による排泄物が接触することによる皮膚炎の予防、ケアをします。

3. 活動内容

- 皮膚科医師や病棟の看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士等と連携し、患者さんの褥瘡予防や治療について話し合いを行っています。そして院内を横断的にラウンドし褥瘡予防、改善に向けたケアを実施しています。また形成外科、整形外科医師とも連携をとり患者により良い皮膚ケアが提供できるよう部署スタッフとともにケアを実施し質の向上に努めています。
- 患者さんの皮膚のトラブルや褥瘡発生を予防できるよう、皮膚を健全に保つことができるスキンケアの実施とスキントラブル発生時は改善するケアを提供しています。ストーマについても相談を受けアドバイスします。
- 看護部スキンケア委員会と協力し院内の褥瘡予防の教育に携わり患者さんの「褥瘡ゼロ」を目指して頑張っています。



栄養の日 2022

8/4 栄養の日 8/1→7 栄養週間

自分のために、地球のために サステナブルに食べよう

サステナブルには **<持続可能な>** という意味があります。

限りある資源を使いすぎず、環境を守りながら、この美しい地球で平和に豊かに暮らせることを願い、世界中の人たちが共通の目標としているのがSDGs、サステナブルな社会の実現です。

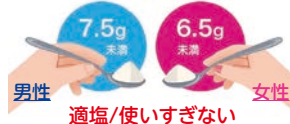
<サステナブルに食べるとは？>

<日本栄養士会HP参照>
<https://www.dietitian.or.jp>



腹8分目/
食べ過ぎない・飲みすぎない

“1日の食塩摂取量”



健康維持/
痩せすぎない・太りすぎない

食材をムダにしない/
食べ残さない



<ほどほどの食事> や **<ほどほどに食べる>** ということについての正しい知識を身につけることが、生活習慣病といった健康問題の解決につながり、結果的にはサステナブルに食べることにつながります。

～病院へのお手紙に関するご回答～

本日外来を受診しました。診察終了後、会計用ファイルをもらうために待機していました。私より後の患者が先にもらい、私は何人も後に渡された状況でした。

知っている人を先にやるのは許せないし納得いきません。改善をお願いする次第です。いつも良くしていただいているのに今回は本当に残念です。

(回答)

診察後におまたせしてしまい、大変申し訳ありませんでした。医師のオーダー入力や次回予約時に検査等があれば、その説明の準備等に時間がかかる場合もあります。そのような際は状況を説明しお待ちいただくことを外来全体で行っていきます。

薬剤師募集

当院では、薬剤師を募集しております。
採用試験等については、ホームページ採用情報の職員募集サイトをご覧ください。

〒321-0293
栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880
獨協医科大学病院 庶務課職員係
電話 0282-87-2038

E-mail shokuin-b@dokkyomed.ac.jp

(受付時間：月～土 8：30～17：00) *休日除く



獨協医科大学病院だより第50号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111 (代表) FAX 0282-86-4775

当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。

獨協医大病院 検索

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日 / 令和4年8月

発行・編集 / 獨協医科大学病院

印刷 / 株松井ピ・テ・オ・印刷